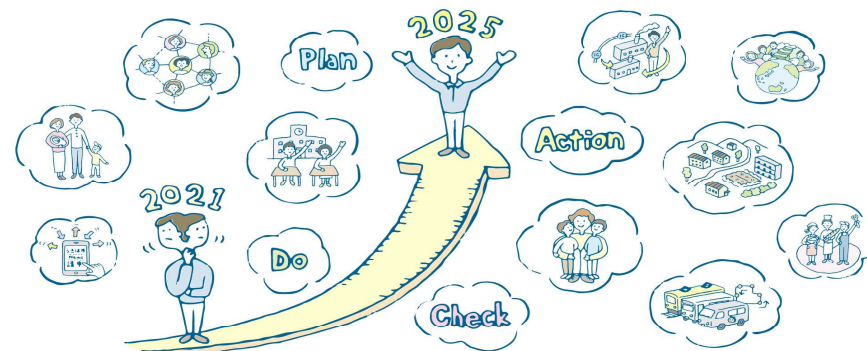


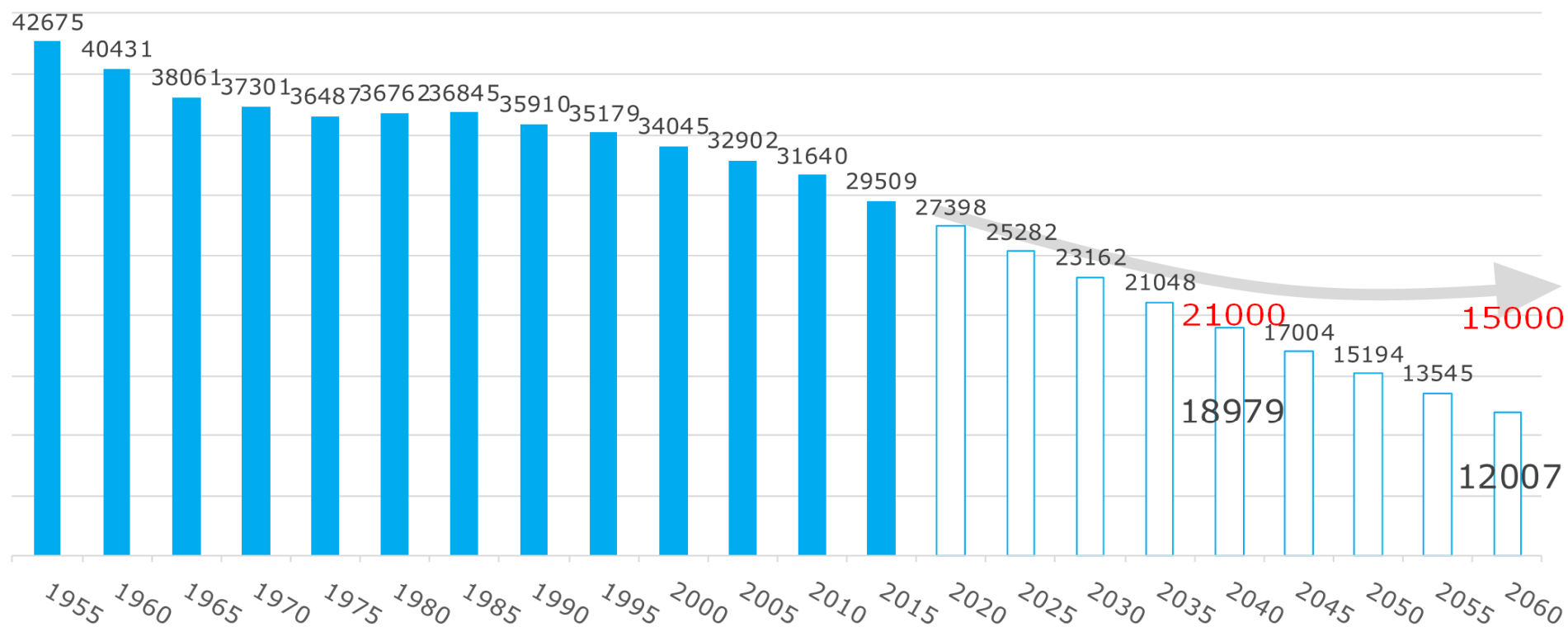
 令和3年度～令和7年度(5年間)

# 地方創生 第2期うきは市ルネッサンス戦略 PDCAシート



# うきは市人口ビジョン

2040年に21,000人 2060年に15,000人を確保



## 第2期うきは市ルネッサンス戦略

ルネッサンス戦略基本方針		ルネッサンス戦略プロジェクト	
1) うきはの資源活用と新たな雇用の創出		1	農業やうきはの水、テロワールを伝承します
		2	うきはのブランド力を高めます
		3	事業や仕事をしたい希望を叶えます
2) 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み		1	空き家の解消に向けて取り組みます
		2	減災・防災のまちづくりを推進します
		3	公共交通や周辺整備に取り組みます
		4	郷土の魅力を高めます
3) 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市		1	子育て支援を推進します
		2	結婚と出産したい希望を叶えます
		3	うきはっ子が世界に羽ばたく教育を推進します
		4	「うきは市＝健康のまち」を推進します
4) 時代にあつたうきはの地域づくりと広域的な地域間連携		1	デュアルライフを促進します
		2	遠隔技術でつながる新たなスタイルを構築します

### R3年度事業化

- 実施中
- × 未実施

### 現在の進捗状況

- A 計画通り取り組んでいる
- B 概ね計画通り取り組んでいる
- C 一部取り組んでいる
- D あまり取り組めていない
- E 取り組めていない

# 1)うきはの資源活用と新たな雇用の創出(戦略P119)

概要	うきは市に存在する多様な資源を活かして、新たな産業の創出を図るとともに、既存の事業所への事業承継支援を行い、雇用の場を確保します。 これにより、現在大きな社会減を示している若い世代について、高校卒業後の地元就職、大学卒業後の地元回帰等を促進するとともに、起業・創業者等の積極的な呼び込みを図ります。	KPI	市民一人当たりの年間所得額	
		現状値	2,398千円	H29年度
ねらい	うきは市の特徴として、豊かで美味しい地下水や温泉、フルーツと、これらを目的とした観光などがあります。一つひとつを磨き上げ、活用し、上手に連携させていくことで、多くの人が魅力を感じるブランドへと作り上げていきます。	目標値	2,600千円	R7年度
		最新値	2,456千円	H30年度

事業一覧	課	係	事業内容	R3年度事業化	具体的な取組内容(又は取組まない理由)	進捗状況
<b>1 農業やうきはの水、テロワールを伝承する</b>						
KPI	新規就農者数	農林振興課	農政係	平成22年度以降累計 179人→230人	189人	最新値 R2年度
①収益性の高い農業への転換等の支援	農林振興課	農政係	・産地形成による作物栽培支援	○	国、県等の補助事業を活用して農業者支援を行っています。	A
	農林振興課	農政係	・新品種栽培等に対する支援や複合的農業経営への転換の推進	○	国、県の補助事業を活用して農業者支援を行っています。	A
	農林振興課 うきはブランド推進課	農政係 商工振興係	・高付加価値化や農商工連携、6次産業化を推進	○	国、県の補助事業を活用した農業者支援を行うほか、地域活性化補助事業を実施し、新商品・新サービスの開発や販路開拓を行う事業者を支援しています。	A
	農林振興課 うきはブランド推進課	農政係 商工振興係	・販売力強化と販路拡大の取組	○	地域活性化補助事業を実施しているほか、市長やJA組合長によるトップセールスを展開し、うきは産農産物や販路拡大のためのプロモーションを行います。	B
	農林振興課	農政係	・農業生産法人や民間企業と連携した共同経営による農業振興	○	うきは市とJAにしが共同で出資した農業生産法人で、ハウス等施設栽培への高収益作物への転換を進めています。	A
	農林振興課	農政係	・農地へのITセンサー導入やドローンによる薬剤散布等のスマート農業を行う農業者への経済的支援	○	国、県等の補助事業を活用して、スマート農業を行う農業者支援を進めています。	A
②農林業の担い手の育成、支援	農林振興課	農政係	・就農希望者に対する恒常的な相談窓口の設置や専門相談員の配置	○	関係機関と連携して、就農希望者に対する相談会を随時実施しています。	A
	農林振興課	農政係	・新規就農者への総合的な研修	○	福岡県等が主催する研修会の周知と積極的な参加を働きかけています。	A
	うきはブランド推進課	地域振興係	・居住用家屋の確保と就業地のあっせんをワンセットにした支援	○	山村地域で半農半X(農業とやりたい仕事)を実践しようとする移住者に向けて協議会で支援する体制づくりを進めていますが、居住用家屋の確保に課題を抱えています。	B
	農林振興課	農政係	・新規就農者を受け入れる農業生産法人の活動支援	○	新規就農を目指す研修生を受け入れている(株)うきはレインボーファームを支援しています。	A
③良質なうきはの地下水や生物多様性のPR	水資源対策室	水資源対策係	・地下水の水質のモニタリングや、うきはの水資源について広報紙やホームページ等で広くPR	○	地下水の水位・水質及び河川の水質の観測を実施中です。今後、水資源について広報紙やホームページでの積極的なPRを図ります。	A
	水資源対策室	水資源対策係	・生物多様性に関する市内調査と保全活動に伴う戦略の展開	○	今年度は市内の動植物に関する資料の収集と分析を行い、次年度の現地調査の方向性を定めることで、今後の保全・活用について検討します。	A

事業一覧	課	係	事業内容	R3年度 事業化	具体的な取組内容(又は取組まない理由)	進捗状況
<b>2 うきはのブランド力を高めます</b>						
<b>KPI 観光入込客数</b>	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	<b>240万人→250万人</b>		<b>200万人</b>	最新値 R2年度
<b>①地域産業資源の洗い出しと商品企画</b>	うきはブランド推進課	商工振興係 ブランド戦略係	・うきはブランドの構築に寄与する新商品や企画、サービスとなり得る素材の活用や認知度向上に取り組む事業者等の支援	○	地域活性化補助事業を実施しています。また、うきは市出身で世界的なフランス料理人の高山シェフにお土産品の開発を依頼し、新たな新商品の開発に継続的に取り組んでいます。	A
	うきはブランド推進課	商工振興係 ブランド戦略係	・既存の地域資源を活用した商品開発やうきはブランド力の維持向上	○	地域活性化補助事業を実施し、地元事業者の商品開発を支援しています。また、地元事業者が開発した商品のデザインや宣伝広告に協力して、うきはブランドの維持向上を図っています。	A
	うきはブランド推進課	商工振興係	・社会課題の解決に向けて新しいサービスの開発や提供を担う事業者の支援	○	社会課題解決プロジェクト事業費補助事業を実施中です。	A
<b>②DMOを中心とした観光振興におけるマーケティングと広報戦略の立案</b>	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・SNSやブログ解析等でのターゲットを絞った観光入込客への広告戦略の立案	○	各メディアへの露出を増やし、各種媒体と連動したSNSでの発信(メディアミックス)を行い、効果的な情報発信に取り組んでいます。	A
	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・DMOによる観光振興の推進と地域の稼ぐ力を引き出す観光地経営の視点に立った観光地域づくりの実現	○	昨年度作成した観光振興計画に沿った取り組みを進めているほか、DMOの本法人取得に向けて福岡県と連携した取り組みを進めています。	A
<b>③商品の販路開拓</b>	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・関係人口やパートナー企業等と連携した市場ニーズにあった商品の販路開拓	○	企業パートナーである県内百貨店のイベントの参加やカタログの掲載を通じて、市内商品の販路拡大を行っています。	B
	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・地域おこし協力隊の活用やふるさと納税の増加策の推進	○	引き続き地域おこし協力隊を登用するほか、地元事業者の商品開発に係るパッケージデザインを制作協力するなど、活性化や納税額の増加を図っています。	A
<b>④温泉街のブランドづくり</b>	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・市内温泉街の観光客回帰に向けた、関係者間の協力によるブランドづくりの推進	○	観光庁の補助金を活用した市内宿泊施設の改修や周辺地域でのイベントの実施、市独自の宿泊助成事業を行い、観光客回帰に向け取り組みを進めています。	A
	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・新しい生活様式に対応した取組と旅行プランの開発支援	○	宿泊助成事業において新たにデジタルチケットを導入して、新しい生活様式に即した取り組みを進めています。	A
<b>⑤道の駅開発事業</b>	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・道の駅の増強による誘客につながる開発整備の検討	○	国土交通省と連携し、トイレの改修や防災道の駅の認定など取り組みを推進し、道の駅の活性化と利用者の利便性の更なる向上を図っています。	A

事業一覧	課	係	事業内容	R3年度 事業化	具体的な取組内容(又は取組まない理由)	進捗状況
<b>3 事業や仕事をしたい希望を叶える</b>						
<b>KPI 創業支援実現数</b>	うきはブランド推進課	商工振興係	<b>平成27年度以降 93名→186名</b>		<b>113名</b>	最新値 R2年度
①児童生徒の地元企業探訪支援	うきはブランド推進課	商工振興係 ブランド戦略係	・高校生以下の地元企業現地視察やインターンシップとまちづくり活動への協力の取組	○	高校生新卒マッチング事業費補助金制度を実施中です。また、中村学園大学や観光専門学校などからインターンシップで生徒を受け入れ、市内の魅力ある企業の発信に努めています。	B
	うきはブランド推進課	商工振興係	・就業希望者と地元企業のマッチング	○	高校生新卒マッチング事業費補助金制度を実施し、生徒と企業を結び付ける取り組みを進めています。	A
②創業支援の充実	うきはブランド推進課	商工振興係	・創業希望者に対する起業から起業後のアフターフォローまでの伴走型による支援	○	商工会、金融機関等と連携し、創業セミナーを開催中です。創業後は商工会における伴奏型支援に繋げられるよう商工会への入会を促しています。	A
	うきはブランド推進課	商工振興係	・副業や兼業を後押しする勉強会やセミナーの開催と社会人の学び直し(リカレント教育)	○	社会人の学び直し(リカレント教育)のためのICT講座を計画中です。	B
	うきはブランド推進課	商工振興係	・デジタルテクノロジーを活用した市内人材の育成	○	こども向けパソコン教室を開催し、人材育成を進めています。	A

## 2) 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み(戦略P121)

概要	うきは市の魅力を高め、対外的に情報発信を行うことにより、UJIターン者など都市部からの人の呼び込みを図り、多様な価値観を持つ市民の連携を高めることにより、地域の活性化を図ります。	KPI	うきは市へのIターン者	
		現状値	69人	R元年
ねらい	「住む」というテーマでうきは市の魅力を高めるためには、うきは市の資源を空間的、時間的な切り口で捉え活用を図るとともに、人々が世代を越えて末永く定住できるように、災害に対応した安全安心な住環境や公共交通の整備、うきは市を知り郷土愛を深めることなど、多面的な形で環境整備を図ります。	目標値	100人	R7年
		最新値	73人	R2年

事業一覧	課	係	事業内容	R3年度事業化	具体的な取組内容(又は取組めない理由)	進捗状況
<b>1 空き家の解消に向けて取り組みます</b>						
KPI	老朽危険家屋除去件数	住環境建設課	建設管理係	45件→105件	65件	最新値 R2年度
①まちなみ再生と空き家活用支援	うきはブランド推進課	商工振興係 地域振興係	・市街地エリア内の空き家情報と利活用希望者をつなぎ、多様な利活用や活性促進	○	まちなみ再生事業で市役所内関係部署間で連携して物件情報の共有や活用希望者の情報をとりまとめ、マッチングに繋げています。また、空き家バンクや空き家リフォーム補助金、空き店舗活用推進補助金等を実施しています。	A
	うきはブランド推進課	地域振興係	・空き家物件を確保する中で障壁となる課題の整理と対策	○	空き家になり放置される前に活用を検討する機会を提供するため、空き家相談会の開催やリーフレット「空き家になる前に読む本」を制作し配付していますが家屋の確保が課題です。	B
	うきはブランド推進課	地域振興係	・古民家の流通促進	○	空き家相談会開催や、空き家バンク制度を推進し、古民家の流通を進めています。	A
	うきはブランド推進課	商工振興係	・うきは駅周辺の空き物件を活性化し賑わいの創出	○	創業支援事業の中で空き物件情報と空き物件を活用希望者とのマッチングを実施しています。	A
②誘致企業で働く就業者への支援	うきはブランド推進課	商工振興係	・都市圏から移住して就業する者への支援	○	うきは市無料職業紹介所において、企業と就労希望者のマッチング事業を実施中です。	A
<b>2 減災・防災のまちづくりを推進します</b>						
KPI	自主防災組織率	市民協働推進課	消防防災係	81%→95%	86%	最新値 R2年
①防災力強化事業	総務課 市民協働推進課	広報係 消防防災係	・SNSを活用した連絡網の構築	○	市の公式LINEで市民への避難情報等の発信や職員間でチャットツールを活用して避難所状況等の報告・管理を進めています。また、クラウドサービスkintoneを利用した消防団出動人員報告の報告・集計を開始しています。	B
	住環境建設課 市民協働推進課	公共土木係 消防防災係	・河川氾濫監視システムや避難所対応等の減災に関するICTの活用検討	○	市有河川の危険箇所は多数あり、まずは現況調査による河川状況の把握と整理に努めます。避難所における避難者数の報告及び避難者数の公表システムの構築を検討中です。	C
	市民協働推進課	消防防災係	・避難所施設の通信環境の整備	×	令和2年度に避難所となる市役所やるり色ふるさと館等でWi-Fiを整備しました。今後、コミュニティセンター等の避難所についてもWi-Fi化を検討中です。	C
	市民協働推進課	消防防災係	・自主防災組織化の推進と活動支援や避難訓練の取組	○	令和3年度から地域防災力強化事業補助金を創設し、自主防災組織の組織率向上と資機材の整備、訓練実施を促進しています。市民からの申請を受け付けている状況です。	C
②高齢者安全運転促進事業	市民協働推進課	消防防災係	・高齢者が運転する自家用車への踏み間違い防止装置や安全運転支援機能付きドライブレコーダーの設置支援	○	以前より取り組みを進めていることから、申請数が落ち着いてきています。令和3年度は区長文書等で申請を喚起します。	C

事業一覧	課	係	事業内容	R3年度 事業化	具体的な取組内容(又は取組めない理由)	進捗状況
③公園の再編	住環境建設課	建設管理係	・点在する公園の適正な管理	○	委託契約やボランティアにより定期的に草刈りを行い管理に努めています。	A
	住環境建設課	建設管理係	・子育て世代に魅力ある公園の再編整備	○	公園の再編や整備について関係各課で会議し、検討・協議中です。	C
<b>3 公共交通や周辺整備に取り組みます</b>						
KPI	コミュニティバス等の利用者数	市民協働推進課	コミュニティ支援係	コミュニティバスや乗合タクシー、補助金を支出している民間バス路線の総利用者数 11,027人→14,000人		最新値 R2年度 10,305人
①新交通システムの導入検討	市民協働推進課	コミュニティ支援係	・ITやAIを活用して輸送を効率化するサービスの実装に向けた課題整理と導入に向けた取組	○	AI活用型オンデマンドバスについて、先進地の事例紹介を行う研修会への参加や情報収集を行っています。	C
	市民協働推進課 うきはブランド推進課	コミュニティ支援係 ブランド戦略係	・観光者の輸送実証試験	○	うきは市のメインターゲットである福岡都市圏からの誘客を活性化するため、観光タクシー等を運行予定です。	C
<b>4 郷土の魅力を高めます</b>						
KPI	関係人口「UKIHA FANCLUB」会員数	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	450人→1000人		最新値 R2年度 505人
①近代遺産の活用	生涯学習課	文化財保護係	・円形劇場や筑後吉井、新川田籠伝統的建造物群保存地区の地域資源の活用	○	筑後吉井3件、新川田籠1件の伝統的建造物保存修理を実施予定です。また、公開施設である鏡田屋敷でR3年4月から指定管理を開始して活用を促進します。	A
	生涯学習課 うきはブランド推進課	文化財保護係 ブランド戦略係	・デジタル技術を用いた地域資源のPR	○	市ホームページや観光サイト、SNS等で指定文化財等の情報を掲載し、情報発信していきます。	B
	都市計画準備課	計画・準備係	・フィルムコミッションによる映画制作	○	オンラインによる打ち合わせ等を行っていますが、緊急事態宣言の発出等もあって具体的な制作にとりかかれていません。	D
②歴史的な小道を歩くフットパス事業	生涯学習課	文化財保護係	・耳納山麓や山城跡、温泉、田園など歴史ある地域資源や風景を楽しみながら歩けるフットパスの整備	○	吉井町福富地区にある歴史の小道に看板を整備するほか、関連するリーフレットを制作して配布する予定です。	C
	うきはブランド推進課	地域振興係	・森林セラピーにおける体験型プログラムの取組	○	緊急事態宣言中を除いて森林セラピーイベントなどを開催し、体験型プログラムを実施中です。	A
	うきはブランド推進課	地域振興係	・多面的な連携による回遊ルートの確保とPR	○	令和2年度に市内のサイクリング団体と連携して作成したサイクリングマップの中で回遊ルートを確保し、サイトや紙媒体でプロモーション中です。	A
③現存する歴史的遺産を活かした観光振興事業	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・装飾古墳が集積する地域の価値を見出して保存と活用を図る集客への取組	○	昨年度から配布を開始した古墳カードを活用して集客効果を高めているが、更なる集客について検討中です。	C
	うきはブランド推進課	地域振興係	・棚田の保全と活用による関係人口づくりプロジェクト	○	棚田オーナー事業の参加者数を増やして関係人口を創出しています。	A
④知識や能力を身につける「まなび舎うきは」	生涯学習課	社会教育係	・外国人を含む市民が活動や学習を通して知識や能力を身につけ、地域社会に還元して生涯活躍できる社会を実現	○	コロナ禍で開催を取りやめた講座もあるものの、まなび舎うきは(うきは市民大学)で各種講座を開催しています。今後も市民の意見を把握して講座を開催します。	B
	うきはブランド推進課	地域振興係	・持続可能な社会に向けたエコミュージアムの実現	○	うきは全体を博物館に見立てた「うきはまるごと博物館協議会」の活動を通じて地域資源にスポットをあてて活動しています。	A



事業一覧	課	係	事業内容	R3年度 事業化	具体的な取組内容(又は取り組めない理由)	進捗状況
⑤移住者向けの街なか案内事業	うきはブランド推進課	商工振興係 地域振興係	・移住者が速やかに市内の生活に溶け込めるように買物先や交通手段、子どもが遊べる場所等を地域とともに紹介	○	国土交通省の官民連携まちなか再生推進事業で事業を実施する予定です。また、転入者の方にうきは暮らしを紹介する冊子を配付し、生活に便利な情報を提供しています。	A

### 3) 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市(戦略P123)

概要	うきは市が将来的に人口を維持していくためには、子どもを安心して育てられる環境を整備することが重要であり、このために各世代の特性に対応する形で環境整備を進めます。また、高齢化が進むうきは市においては、高齢者自体の生きがいづくりや社会参画を高めていくことが必要であり、この活力を子育て環境の充実に活かしていくことも重要です。	KPI	合計特殊出生率	
		現状値	1.65	平成25～29年
ねらい	子育て世代への支援を充実強化し、子育てしやすいまちにすることが目的です。また、すべての世代が安心して生活できるうきは市の形成を図るとともに、健康づくりに力を入れ、安定した社会保障制度を維持していく必要があります。	目標値	1.80	令和3～7年
		最新値	1.65	平成25～29年

事業一覧	課	係	事業内容	R3年度事業化	具体的な取組内容(又は取り組みない理由)	進捗状況
<b>1 子育て支援を推進します</b>						
KPI	保育所入所待機児童数	福祉事務所	保育所係	5人→0人	4人	最新値 R2年10月
①小中高校における人材育成の推進	生涯学習課	社会教育係	・ふるさとの教育等を通じた地元への理解や愛着の醸成	○	コロナ禍で中止した時期もあるものの、寺子屋事業において高校生が小学生の学習支援を行うことで地元愛を育てています。	B
	生涯学習課	社会教育係	・地域と協働して地域を支える人材の育成	○	うきは市生涯学習人材バンクを組織して、社会福祉協議会と連携しながら個人や団体が公立学校へボランティアで読み聞かせや書道教室、水泳の見守りなどの活動を行っています。	B
②地域協働等による高校の魅力向上	企画財政課 うきはブランド推進課	企画調整係 ブランド戦略係	・高校と地域の多様な主体が連携し、高校生の興味関心と地域の課題を丁寧に取り合わせるための協働体制組織(コンソーシアム)の構築	○	浮羽実業高校生徒でうきは市をPRする「ウキハバプリシティQ」を結成して、地域の現状を把握しながら情報発信を行っています。コンソーシアムの構築に時間を要しています。	C
	企画財政課 うきはブランド推進課	企画調整係 ブランド戦略係	・地域課題の解決等を通じた探究的な学びを実現する取組	×	うきは市と高校で協議を重ねていますが、高校の活性化策を含め地域課題の解決に資する探究的な学びの実現に向けて方策を模索している段階です。	D
③子育てママの働く応援事業	男女共同参画推進室	男女共同参画推進係	・起業や就業を目指す女性等に向けた講座の実施や情報提供、相談	○	男女共同参画セミナーや女性向けの就業支援講座を実施しています。	A
	うきはブランド推進課	商工振興係	・創業支援拠点U-BiCにおける女性の短時間就労支援等の取組の加速化	○	U-BiCでは短時間就労を希望する子育て期の女性を積極的に会計年度任用職員として雇用しており、就労支援施策の強化や市内事業者への様々な情報提供を実施して、労働環境の改善を目指しています。	A
<b>2 結婚と出産したい希望を叶えます</b>						
KPI	結婚新生活支援金交付件数	企画財政課	企画調整係	平成28年度以降 28件→78件	39件	最新値 R2年度
①結婚理解促進活動	企画財政課	企画調整係	・配偶者に出会う場や機会など婚活への理解促進	○	結婚新生活支援金制度を実施して、結婚と少子化対策に取り組んでいるほか、婚活イベントがメールで届く県の取組を市民に情報提供しています。	A
②出産や不妊にかかる経済的支援	保健課	食育・健康対策係	・不妊治療への支援	×	不妊治療の経済的負担の軽減を図るために福岡県が行っている助成制度について、チラシの窓口への配置や相談・電話対応等によりその周知、利用促進を図っています。	C
	保健課	食育・健康対策係	・産後ケア事業の充実等を通じた妊娠や出産への支援	○	生後4か月健診未満の子と母親を対象に、産科医療機関で日帰り又は宿泊による母子のケアや相談等を受け、安心して子育てできるよう支援します。	A
③子育て世帯への支援	福祉事務所	子育て支援係	・出産応援金の給付	×	令和2年度はコロナ禍で、国の地方創生臨時交付金を財源として出産した子どもを養育する父母に臨時特別出産応援金を支給しましたが、令和3年度は事業化できておらず検討中です。	E

事業一覧	課	係	事業内容	R3年度 事業化	具体的な取組内容(又は取組まない理由)	進捗状況
<b>3 うきはっ子が世界に羽ばたく教育を推進します</b>						
<b>KPI 自尊感情の向上</b>	学校教育課	学事係	<b>全国学習状況調査の4段階自己評価で、将来の夢や目標があるに4「そう思う」と回答した中学3年生の割合 35.9%→40.0%</b>		<b>35.9%(令和2年度は中止)</b>	最新値 R元年度
<b>①英語力アップと異文化理解の相互交流</b>	学校教育課	学事係	・幼稚園、小中学校での英語力向上の取組	○	民間事業所と外国人派遣契約を締結して各小中学校に派遣し、英語力の向上に取り組めます。	B
	企画財政課	企画調整係	・近隣大学等と連携した外国人留学生等との英会話や異文化の相互交流	○	地域おこし協力隊の黄氏を中心とした市民有志による異文化交流の取組等への支援を継続して行います。	A
<b>②ICT教育の充実</b>	学校教育課	学事係	・タブレット端末や情報通信ネットワークの整備	○	令和2年度にタブレット端末等を整備して、学校内で現在活用しています。	A
	学校教育課	学事係	・ICT専門コーディネーターの配置	○	4月より専門員を雇用し、各学校を巡回しICT教育の質の向上と教職員のスキルアップを図っています。	A
	学校教育課	学事係	・学力向上に向けたプログラミング教育等の推進	○	県からの委託事業を受けている千年小学校を中心にプログラミング教育を推進し、学力向上を目指しています。	A
<b>③子どもの生きる力の育成</b>	生涯学習課	社会教育係	・体験学習や自然活動を通じた生きる力やたくましさの醸成	○	まなび舎うきは(うきは市民大学)での登山研修や親子参加型講座(キャンプ、陶芸、料理、木工教室等)の運営を通じて社会性やリーダーシップなどを身につける取組を進める予定です。	B
	生涯学習課	社会教育係	・離島での体験活動等と人的交流の推進	○	うきは市の小学生と岩手市の小中学生の相互交流による体験学習事業の実施を進めていますが、コロナウイルスの影響を受けています。	C
	学校教育課	学事係	・中学校部活動指導コーディネーターの配置	○	コーディネーターに準じる部活動外部指導員を複数配置して、子どもの育成を行っています。	B
<b>④豊かな心育成事業</b>	福祉事務所 生涯学習課	保育所係 社会教育係 スポーツ文化振興係	・音感(リトミック)教育や文化教育など人間の感性を活かす教育の提供	○	市内保育所9箇所ではリトミック教育を実施中で、今年度は保育士のリトミック教育指導者の研修にも力を入れています。	A
	福祉事務所	保育所係	・講師による保育士等への指導	○	豊かな心の育成のため、リトミック教育で保育士が指導者講習会を受講しながらその内容を日常の保育の中に取り込み、活用を図っています。	A
	学校教育課	学事係	・専任スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置	○	小中学校配置のスクールカウンセラーと別に配置し、各種相談に応じています。	A

事業一覧	課	係	事業内容	R3年度 事業化	具体的な取組内容(又は取組まない理由)	進捗状況
<b>4 「うきは市＝健康のまち」を推進します</b>						
<b>KPI</b> 市が主催や共催する スポーツイベント数	生涯学習課	スポーツ文化振興係	<b>4事業→8事業</b>		<b>4事業</b>	最新値 R2年度
①スポーツと予防医療活動の推進	保健課 生涯学習課	食育・健康対策係 スポーツ文化振興係	・運動やスポーツの習慣化による健康のまちづくり	○	健康診査の結果から運動習慣の改善が必要な者に対し、個別に保健師や管理栄養士が対応しています。糖尿病の個別フォロー者に対しては、運動の必要性や習慣化にむけた教育を行う予定です。また、住民健診事業をうきはアリーナで実施して体成分測定表を活用した運動の習慣化を推進しています。	A
	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・温泉等との連携による予防医療活動	×	新型コロナウイルスの影響により入り込み客数が大幅に減少している。その回復を最優先に取り組んでおり予算できていません。	E
	生涯学習課	スポーツ文化振興係	・トップアスリートとの触れ合いを通じたスポーツ人口の増加	○	スポーツ事業講演会及びスポーツフェスタを開催し、スポーツ人口の増加を促進します。	B
②うきは的健康事業の推進	生涯学習課	スポーツ文化振興係	・就学前児童への水泳などスポーツや運動習慣の推進	○	指定管理者による幼保年長児水泳教室を実施し、運動習慣の定着を進めています。	B
	保健課 生涯学習課	食育・健康対策係 スポーツ文化振興係	・健康に結びつく事業同士の連携	○	産後1年の産婦の産後ボディケア教室を総合体育館を運営する指定管理者と連携し行っています。また、住民健診を総合体育館で行い、健康維持のための施設利用を促しています。	B
③生きがい対策プログラム	生涯学習課	社会教育係	・コミュニティや各種団体など職場と家庭以外の第3の場への参加の推進	○	まなび舎うきは(うきは市民大学)の講座内容の充実や受講を促進しつつ、保護者に対する家庭教育学級事業に取り組んでいる。	B
	市民協働推進課	コミュニティ支援係	・市民のボランティア活動の促進	○	社協や各自治協議会活動の中で、市民が自ら積極的に参加していけるように、各種情報の発信を行っています。	B
④ウォーキングのまちづくりの推進	保健課 生涯学習課	食育・健康対策係 介護高齢者支援係 スポーツ文化振興係	・スマホアプリを活用した健康づくりや地域通貨との運動も視野に入れたスポーツの推進	×	地域通貨やアプリ等の連携を含めて検討中です。	D

#### 4) 時代にあつたうきはの地域づくりと広域的な地域間連携(戦略P125)

概要	価値観の多様性や新型コロナウイルスの影響もあり、社会環境が変化する中で、働き方改革や新たな生活様式への対応が必要になっています。うきは市の地域づくりにおいても、今後の社会のあり方を見据えて対応を図っていくことが重要となっています。	KPI	広域的連携事業(単なる会議等は除く)	
		現状値	31件(うち人的交流を伴うもの19件)	令和元年
ねらい	デュアルライフ(二拠点生活)をはじめとした多様な居住形態の実現や、地理的空間を越えた多様な地域間連携などを通じて、豊かな農村環境の中に存在しているうきは市の立ち位置を明確にし、うきは市としての個性ある地域の活性化を図ります。また、いつでもどこでも学べる生涯学習環境を整え、文化度の高いまちづくりを推進します。	目標値	50件(うち人的交流を伴うもの30件)	令和7年
		最新値	34件(うち人的交流を伴うもの8件)	令和2年

事業一覧	課	係	事業内容	R3年度事業化	具体的な取組内容(又は取り組まない理由)	進捗状況
<b>1 デュアルライフを促進します</b>						
KPI	地域づくり活動費補助金申請団体数	市民協働推進課	コミュニティ支援係	13団体→16団体	4団体	最新値 R2年度
①UJIターンやデュアルライフの促進	うきはブランド推進課	地域振興係	・UターンやJターン、Iターン、二地域居住生活者等への活動支援	○	市内の空き家を取得しリフォームする人へ空き家リフォーム補助金を交付しています。	A
	うきはブランド推進課	地域振興係	・デュアルライフ大使の取組と活用	○	うきは暮らしをPRしてもらうために、うきは市にゆかりのある方をデュアルライフ推進大使に任命し、名刺を作成して大使に配付していただいています。	A
②つばめの学校	市民協働推進課	コミュニティ支援係	・同窓会を通じた市外転出者との連携の構築	○	20歳～30歳のうきは市の小・中学校卒業者を対象に、同窓会を開催する経費(1団体50,000円限度)を補助しますが、コロナ禍の中で制度の告知や申請者の申請が難しい状況です。	E
	うきはブランド推進課	ブランド戦略係	・うきはへの再訪や新たな関係づくりを展開し、出会いの機会の創出と地域活性化の推進	○	関係人口創出事業を通じて、うきは市と関わる人や企業を増やし、地域の活性化を図っています。	B
③地域おこしリーダーの育成支援	市民協働推進課	コミュニティ支援係	・次代のまちおこし団体リーダーの育成支援	○	各自治協議会活動を通して、地域を担う時代の人材育成を支援しています。	C
	市民協働推進課	コミュニティ支援係	・まちづくり団体の取組支援	○	任意団体が主催する市民の連帯強化及び一体感の醸成並びに市内外からの集客を目的とするイベントに対し補助金(補助率30%)を交付し支援しています。	A
④ワーケーションの推進	都市計画準備課	計画・準備係	・勤務地以外の場所に設置するサテライトオフィスの立地促進	○	鏡田屋敷の活用策として文化財保護係とともに民間団体へ指定管理委託を結び、宿泊及びコワーキングでの利用を進めています。	B
	都市計画準備課	計画・準備係	・ワーケーションの受入に伴う運営スキルの養成	○	昨年度までの取組により、ワーケーションへのニーズがあると判断できたことからうきはは未来づくり公社と連携した観光事業などを活用してワーケーションを呼び込み、地域経済への波及効果を見込んでいます。	A

事業一覧	課	係	事業内容	R3年度 事業化	具体的な取組内容(又は取組まない理由)	進捗状況
<b>2 遠隔技術でつながる新たなスタイルを構築します</b>						
<b>KPI デジタル申請受付数</b>	総務課 市民生活課	情報システム係 住民係	<b>年間 0件→240件</b>		<b>42件</b>	最新値 R2年度
①生涯学習リモート(遠隔)講座の開催	生涯学習課	社会教育係	・専門的な講座や新規講座のリポートによる開催	×	現在開催するまなび舎うきは(うきは市民大学)の講座は高齢者の参加者が多いためリモート等の講座はなじまず、若年～中高年世代への講座への導入検討が必要です。	E
	生涯学習課	社会教育係	・オンライン環境の整備	○	るり色ふるさと館にWi-fiが導入されたことを踏まえ、生涯学習課で講座等に活用するPC(リース)保有推進を行い、今年度パソコン教室で導入する予定です。	A
②遠隔でつながる見守り活動	保健課	介護高齢者支援係	・新しい生活様式や緊急時に対応したタブレット等の整備とコミュニケーションの取組	○	多職種による支援や高齢者の介護予防等の支援としてタブレットを活用しています。自治協単位でスマホ教室を実施する予定です。	A
	保健課	介護高齢者支援係	・リモートによる見守り活動の実施検討	○	通所型の評価などにノートPCを導入して介護予防者と事業者をリモートでつなぎ、見守り活動を進めています。	A
③各組織の役員の負担を減らす遠隔技術の活用	市民協働推進課 生涯学習課 福祉事務所	消防防災係 コミュニティ支援係 社会教育係 福祉係	・消防団やPTA、自治会、民生委員等の会合をリモートで実施する	○	自治協議会連絡会議にオンライン会議を導入するための研修等を実施するなどツールの活用を進めています。	B
	市民協働推進課 生涯学習課 福祉事務所	コミュニティ支援係 社会教育係 福祉係	・情報収集や発信についてSNS等の活用を検討	○	自治協議会情報を発信するため、HPの開設やLINEの作成を進めています。また、クラウドサービスkintoneを利用して消防団出動人員報告の報告・集計を開始します。	C
④協働のまちづくりを推進する遠隔会議の開催	市民協働推進課	コミュニティ支援係	・リモートによる協働のまちづくりワークショップの開催	○	自治協議会連絡会議の一部を今年度よりオンライン会議で実施しています。	B
⑤デジタル社会の推進	総務課 市民生活課	情報システム係 住民係 商工振興係	・Society5.0社会の市民手続きのデジタル化とペーパーレス化	○	事業者を対象にコロナ関係支援金の申請をデジタル化しています。またクラウドサービスkintoneを導入し、今年度、利用者の研修などを実施する予定です。今後、アンケート調査等を電子化し、効率化を図ります。	A
	総務課	広報係	・デジタル変革に対応する時代にあったホームページの構築	○	うきは市ホームページが構築から10年が経過し、スマートフォンやタブレット端末等への対応や機能不足など様々な課題が生じているため、セキュリティの強化やインターネットの技術革新に柔軟に対応できる新システムの構築します。	A
	総務課	情報システム係 商工振興係	・情報化アドバイザーの活用	○	外部アドバイザーを4月から雇用し、デジタル化に関しての助言を受けているほか、各課の業務に応じたデジタル化の推進を図っています。	A